



授業担当者

妹尾(北星学園余市高校)

小幡(心コミ助手)

2

授業のねらい

- ビデオカメラ、映像編集ソフトの使い方に習熟し、企画、構成や編集を意識した映像作品づくりができる。
- 映像で考え、映像で意見を述べる上での心得を獲得し、他者に見られることを意識した情報発信ができる。
- 単にデータを羅列するのではなく、構造化された「物語を持つ作品」に仕上げることを目指す。

3

授業の日程(1)

- 第1回(4/9):オリエンテーション、参考作品鑑賞
 - 第2回(4/16):映像制作の企画提案、撮影講習
 - 第3回(4/23):撮影練習(課題映像※の撮影)、データの保存
- ※課題映像は、授業内で設定したテーマに基づいて撮影し、編集をする。
- 第4回(5/7):映像編集I(トリミング、速度の変化)
- この回までに、企画提案書を提出

4

授業の日程(2)

- 第5回(5/14):映像編集II
(素材の調整、トランジション、エフェクト)
 - 第6回(5/21):映像編集III
(タイトルの設定、BGMの追加)
 - 第7回(5/28):映像編集IV
(動画の書き出し、メニュー画面の設定)
 - 第8回(6/4):課題映像編集
- 5月上旬～6月下旬にかけて、自分の撮影を進める。

5

授業の日程(3)

- 第9回(6/11):課題映像鑑賞・講評
 - 第10回(6/18):構成表の作成、進捗状況確認
 - 第11回(6/25):自由編集
- 7/2は休講
- 第12～13回(7/9、16):自由編集
 - 第14・15回(7/23、30※):作品鑑賞会
(履修者数が少ない場合は、第14回目も自由編集になる場合がある)
- ※30日は統一補講日

6

完成までのロードマップ

日程	作業工程
5月7日(火)	企画提案書・提出 →すでに構想が出来上がっている場合はGW中に撮影に入ることを推奨
5月上旬 ～6月下旬	自分の作品の撮影(6月末クランクアップ) →撮影が早く終わるほど、それだけ編集に時間をかけられる＝良い作品になる！
7月上旬 ・中旬	作品version1完成！・・・を目指す。 →最終的な提出前に第3者に見てもらおうと良い。
7月19日(金)	映像作品提出！

7

授業の概要

- 機材等は2人一組で利用する。
機材も2人で共有することになるので、パートナーへの配慮を忘れないこと。
- 撮影、編集は思ったより時間がかかります。
授業時間外の作業も多くなることを想定しておいてください。

8

評価の方法

- 授業全体を通して、1人1本、3分程度の映像作品を作成し、それによって評価を行う。
- 企画書の提出：5月7日(火)(第4回授業まで)
※授業前に集めます。
- 作品の提出：7月19日(金) 17時(時間厳守)

9

使用機材(撮影)

- デジタルビデオカメラ(7F心コミ部屋で貸出)
- 機種が統一されていないので注意！
 - マイクは接続不可。
 - HDD内蔵タイプのビデオカメラを使用
- ※自分が所有しているカメラ等を使用したい場合は要相談。

10

使用機材(編集)

パソコン(第2実習室)

- Adobe Premiere Element 15がインストールされているPC。

11

使用機材(編集)

ポータブルHDD(7F心コミ部屋で貸出)

- 動画データなどを保存
- 二人で共有(フォルダを作って領域を半分ずつ使用する)
- 注意！壊れやすいので丁寧に扱うこと！



12

機材を借りるには？

1. 授業時はこちらで用意する。
 2. 授業時以外に借りるには、貸出簿に記載する。
- 注意！ 付属品をなくさないためにも、必要ない物は箱から出さないこと。

13

機材を返すには？

1. A館7F心コミ部屋実習準備室に行く。
 2. 谷さん、小幡に「映像技術演習の機材を返しに来ました。」と言う。
 3. 谷さん、小幡に中身のチェックを受ける。
 4. 貸出簿に、返却した時間を記載する。
- 注意！ 返却前に、データの消去、バッテリーの充電を行って下さい。

14

授業のHP・連絡先

授業のホームページ

<http://www.ipc.hokusei.ac.jp/~z00431/eizou.html>

授業で使用するパワーポイントをアップしておきます。

連絡先： 小幡 obata@hokusei.ac.jp まで。

15

残りの時間で・・・

➤ サンプル作品上映

昨年度、映像技術演習を履修した人の作品です。

16

次回予告

4月16日(火) 第2実習室

17